



## 「掃除」から「清掃」をめざそう ～「一己の労」を大切にする～

私たちは、学校生活の中で、毎日やらねばならないことがたくさんあります。その一つが掃除です。皆さんは、掃除にどのように取り組んでいますか。少し振り返ってみてください。

- 昼休みの終わりのチャイムで、自分の掃除場所に急いで行っていますか。
- 掃除場所では、「今日は、どこをどのように掃除をする」と考えて始めていますか。
- 自分に任された掃除が終わったら、他によごれているところはないかを見付けて掃除をしていますか。また、他の人の掃除を手伝っていますか。
- 時間いっぱい掃除をしていますか。
- 黙って掃除をしていますか。
- 掃除道具を大切に使っていますか。掃除が終わった後は、道具を元の場所に片付けていますか。
- 掃除が終わった後に、自分が掃除をした場所をながめて、「今日は、いい掃除ができた。気持ちがさわやかである」と心からそう思っていますか。

「掃除」のことを「清掃」と言うことがありますが、「掃除」と「清掃」は意味が違います。「掃除」は「見えるところだけきれいにする」こと。「清掃」は「ゴミがない所であってもきれいにする。見えないところまできれいにする」こと。「ゴミなし、チリなし、ホコリなし、よごれなし、ピカピカ」です。

皆さんには、「掃除」から「清掃」をめざしてほしいと思います。人とおしゃべりをしては、「清掃」はできません。黙ってするのは、心を集中させ、一生懸命にきれいにするためです。黙って取り組むことで、集中できるので、「ひたむきな子」「さわやかな子」とは、みんなが黙々と心を込めて清掃ができる子です。

**「一己の労を軽んずるにあらざるよりは いくんぞ 兆民の安きをいたすをえん」**

このことばは、なかよし学級1学期、2年生2学期の朗唱文です。「自分自身がやらなければならない仕事を心を込めて一生懸命にやらなければ、どうして多くの人のために尽くす立派な人間になれるでしょうか」と松陰先生ははっきり言われています。

毎日の掃除、係や委員会の仕事など、すべて「一己の労」です。「一己の労」を大切にする明倫小学校でありたいと思います。